

10.25 川崎市長選挙に

(ふくだ のりひこ) 37歳

福田 紀彦 県議会議員を

民主党 推薦決定！！

お役人市長に、川崎の未来は、託せない
今こそ、生活者の視点で市政を刷新！！！！

政権交代により、国と地方のあり方が大きく変わります。
国に判断をゆだねるのでなく、自らの地域の課題は自らの
知恵と判断、責任で決める時代です。

新しい市長に求められる資質は、官僚出身の管理型の
行政運営ではなく、政治家による「地域力」を最大限に
活かすプロデュース型の運営です。

7年間の議員活動で身に付けた“現場主義”と“生活者の
視点”から政策を考える市政への大転換が必要です。

「生活者視点で川崎を変える！」を合言葉に政策の優先
順位を変え、暮らしやすさを実感できるまちづくりが
新しいリーダーに期待されています。

マニフェスト・チャレンジ11(イレブン)の基本方針

生活者重視への政策転換 ～コンクリートから人へ～

「地下鉄建設」計画に待った！子育て、福祉、雇用などの政策へ
優先順位を変更し、「生活者視点のまちづくり」で川崎の生活実感の質と
魅力をアップさせます。

「官僚依存市政」からの脱却 ～地域の力の結集と対話で市民政府を確立～

国への追従の政策や官僚頼みの人事を改めます。天下りを根絶します。行政の透明化を徹底し、市民権による「市民の政府」を実現します。

区への徹底した分権 ～生活と市政がぐっと身近に～

市民の生活圏と市政の距離を縮め、各区の問題解決や特性に合った個性あるまちづくりを進めるために都市内分権。
「暮らしやすさ日本一」「世界に開かれた都市」を実現します。



福田紀彦 プロフィール

1972年4月20日生まれ、37歳。

川崎市立長沢小学校・長沢中学校 卒業

米国アトランタ・マッキントッシュ高校卒業。

米国ファーマン大学 政治学専攻卒業。

衆議院議員 松沢成文(現 神奈川県知事)公設第
一秘書などを務め、2003年当時、最年少で神

奈川県議会議員(川崎市宮前区)に初当選。20

07年再選。厚生常任委員会委員などを務め、2

009年9月辞職。

全国の知事・市長・地方議員が政策力を競う「マ
ニフェスト大賞」の08年度・09年度実行委員
長として議会外でも政策本位の政治の実現のため
に奮闘中。